

～狩猟の6次産業化と移住促進を目指して～

基本情報



【年 齢】
59歳
【出身地】
三重県紀北町
【転出元】
東京都豊島区
【前 職】
アルバイト
【活動時期】
R8.4～R11.3

協力隊に応募したきっかけ

大多喜町の叔母の家を相続し大多喜町とのご縁が出来ました。相続のために大多喜町に通っているうちに大多喜町の自然環境が三重県の出身地に似ており、初めての土地なのに何だか懐かしさを感じた次第です。そうした折にいすみ地方の4自治体をめぐる移住体験イベントに参加してさらに関心が高まりました。

東京の移住イベントに参加し際に千葉県の職員さんから大多喜町で地域おこし協力隊の募集を知らされて関心のある有害獣駆除任務の協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

まずは有害獣駆除の技術を高めて捕獲頭数を高めることが第一の目標です。国や千葉県が推進しているジビエの普及にも取り組みたい。特に千葉県では到底外来生物のキョンが大繁殖しており積極的な捕獲を進めているが、そのほとんどが廃棄されているというのが現実である。ジビエとして美味しいキョンをもっと多くの人に食べてもらいたい。任期後は狩猟体験イベント等を通じて知ってもらえる事業を起業したいと考えています。

活動内容

●活動内容タイトル1

地元猟友会を通じての有害獣駆除の活動
まだまだこれから狩猟技術を磨き捕獲頭数を増やすのが目標です

活動内容が
分かる写真など

●活動内容タイトル2

駆除した有害獣をジビエとして活用し普及する
千葉県ではキョンが大繁殖しており根絶することが県の方針として掲げられている。しかしながら、駆除されたキョンは大半が廃棄され活用されないのが現状。町内イベント等でジビエの屋台出店をして大多喜町民にキョンを食べてもらう活動に尽力したい。

活動内容が
分かる写真など

●活動内容タイトル3

近年の獣害の増加やクマ被害がテレビ報道されて狩猟に対する関心が高まっています。しかしながら、東京を中心に狩猟免許はあるが狩りをした経験がない「ペーパーハンター」が増えています。狩猟体験イベント等を通じて大多喜町の自然環境を知ってもらい移住促進に繋げていきたい

活動内容が
分かる写真など

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) nourin@town.otaki.lg.jp
(電話番号) 0470-82-2535

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし